

東久留米市立第六小学校  
保護者の皆様

東久留米市立第六小学校  
図書ボランティア代表 太田

## 特別企画 紅林先生にインタビュー

こんにちは、一年でもっとも寒さの厳しい季節到来!!

皆様お元気でお過ごしのことと思います。

六小の子供たちは外遊びが大好きですが、読書が大好きな子供たちでもあります!

そこで本が大好きという紅林先生にいろいろお話をうかがいました。

図ボラ:先生の教室にはたくさん本がありますね。先生が小学生の時、  
大好きだった本は何でしたか?

紅林先生:「フランダースの犬」です。

おばあちゃんの家にあって何度も何度も読みました。

図ボラ:とっても好きだったんですね。では本好きになったきっかけは?

紅林先生:生まれて気が付いたら本が好きになっていました。(笑)

両親からの本のプレゼントも多かったですね。

図ボラ:小さいころからたくさんの本に親しんでいらしたのですね。

では本を好きになってよかったと思うことは何ですか?

紅林先生:本の世界に引き込まれ、想像がふくらむことですね。

図ボラ:なんだか夢の中に行くみたいですね。

では困ったことはありますか?

紅林先生:つい夢中になり、うっかりほかのことを忘れてしまったり...(笑)

図ボラ:そうそう よくあります!時があっという間に経ってしまいます。

紅林先生:よく親に怒られました。(笑)

図ボラ:私も気を付けます。え~それでは最後に子供たちにとって  
「読み聞かせ」とは...

紅林先生:子供たちに読み聞かせをすると一生懸命聞いてくれます。

本の中で『悲しい』とか『やさしい』などたくさん思うことで  
心の栄養をだんだんと吸収していきます。

一日一日、少しずつですが体とともに心も成長して  
いくのかなと思います。

図ボラ:素敵なお話をありがとうございました。



来年度の  
図書ボランティア  
募集中!  
お待ちしております  
おりま~す

おまけの話  
先生がはじめて先生になった時、先生として子供たちに本(児童書)を伝えることの大切さを教えてくださった先輩先生との出会いが大切な宝物だそうです。

